第１号議案　　令和７年度事業報告書・計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の承認について

事　業　報　告　書

（第５８回）

自 令和７年４月１日　　至 令和８年３月３１日

１．事業概要

令和７年度は、甚大な被害を受けた東日本大震災から１５年が経過し、復旧整備された圃場では園芸振興が行われ、生産の安定化が図られています。

一方で、青果物を取り巻く環境は、燃油や肥料および生産資材価格の高止まりが続き、農業経営においては依然として厳しい状況が続いています。また、中東情勢の緊迫化により原油が滞り、由来するナフサの不足から包装資材やマルチフィルムなどに出荷遅延等が発生し、今後の生産・出荷について注視していく必要があります。

青果物の価格は、近年の高温や少雨など天候不順が作柄に大きく影響し価格上昇につながっています。消費動向は、食料品などの価格上昇も重なり、購買意欲の減退から個人消費を下押しする要因になっております。

一般青果物価格補償事業のなかで、だいこんの最低予約数量を１０㌧から５㌧としました。また近年の市場価格高騰を受けて、現状の補償基準価格との乖離が生じていることから、補償基準価格の激変緩和のため、変動率に応じた調整率に見直しました。

最終年度となった「みやぎ園芸特産振興戦略プラン」の戦略品目と全農宮城県本部の生産振興品目を加えた「生産拡大品目（補給金交付率 100%）」において、令和７年度は３品目（レタス、キャベツ、ほうれんそう）が補給金交付対象となりました。

本年度も、生産者の事務負担金が減免され　県の一般青果物価格安定対策加入促進事業を活用し、品目別では予約申込数量の増減により、8,041.1㌧となり全体では前年を 99.5㌧上回りました。

一般青果物補給金の交付状況は、2,862,397 円（前年比 660%）となり、今年は８品目の補給金交付となりました。

２．青果物の取扱実績

令和７年度全農宮城県本部青果物取扱高は、11,397 百万円（前年比 92%）となりました。

品目別では、野菜計（菌茸含む）数量 17,935㌧（前年比 91%）、金額 6,988 百万円（前年比 88%）の取扱となりました。主力のきゅうりは、数量 5,588㌧（前年比 92%）、価格は（前年比 98%）とほぼ前年並みだが、金額は（前年比 88%）と前年を大きく下回りました。

果実計では、数量 3,371㌧（前年比 97%）、金額 4,467 百万円（前年比 98%）、主力のいちごは、数量 2,663㌧（前年比 94%）、梨は、数量 646㌧（前年比 110%）の出荷量となりました。

いちごは初秋の低温が影響し出荷減となり、梨は順調な出荷が続き、全国的に見ても同様の動きとなりました。

３．補給金の交付状況および交付実績について

生産農家の経営安定と再生産の確保等を図るため、卸売市場の販売価格が著しく低迷した品目について「一般青果物価格補償事業」で８品目（前年４品目）、「特定野菜等供給産地育成価格差補給事業」は１品目（前年０品目）となり、受託事業の「指定野菜価格安定対策事業」については前年同様、補給金交付対象はなかった。

（１）一般青果物価格補償事業 …… 表１

（ア）交付額合計は、2,862,397 円（前年比 660％）、交付予約数量 8,041.1 ㌧（前年比 101％）に対し、交付対象数量 238.6 ㌧（前年比 206％）となった。

（イ）野菜は、交付順に「こまつな」「レタス」「ブロッコリー」等が交付対象となり、「こまつな」が交付額の 54％を占めました。

（２）特定野菜等供給産地育成価格差補給事業 … 表２

交付対象は、「ほうれんそう」の１品目となり、110,945 円の交付額となりました。

（３）受託事業

ア．指定野菜価格安定対策事業 … 表３

（ア）交付対象はなかった。（前年なし）

（イ）交付対象数量０㌧（前年なし））

イ．大規模契約栽培産地育成強化支援事業（旧端境期等対策産地育成強化支援事業）

（ア）補助金（事務費）：なし

（イ）支援事業対象品目：なし

ウ．野菜価格安定事業適正化推進

（ア）野菜の生産出荷等状況調査 … ほうれんそう（涌谷町）、夏秋きゅうり（蔵王町）、秋冬ねぎ（加美町）

（イ）現地調査回数：年４回×３品目＝１２回

（ウ）事業の普及にかかる説明会の開催 …野菜制度説明会：年１回（令和７年８月２６日）

４．法人の運営体制の充実を図るための取組

令和７年４月に施行された「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」の改正を踏まえ、公益法人の運営に係る透明性の向上、ガバナンスの充実の観点から協会の運営体制の充実を図るため、外部理事選任にむけての検討および、外部監事の設置を行った。また、適正な経理処理に対応するため、税理士法人による定期的な指導を受けた。今後も他法人の事例や内閣府「公益法人の自主的・自律的ガバナンス強化のための調査報告書」を参考にするなど、更なる取組みを進めていくこととする。

表１　一般青果物価格補償事業

対象月	補給金額　（円）		前年比（%）	対象品目	品目数	交　付年月日
	Ｒ６年度	Ｒ７年度				
４月	0	381,657	－	こまつな、レタス	2	R7.6.20
５月	0	1,179,032	－	こまつな、レタス、ブロッコリー	3	R7.7.18
６月	408,296	321,701	78.8	こまつな、ブロッコリー、キャベツ	3	R7.8.21
７月	25,601	0	－		0	－
８月	0	2,130	－	ほうれんそう	1	R7.10.21
９月	0	27,006	－	なめこ、かぼちゃ	2	R7.11.21
１０月	0	421,385	－	こまつな、みず菜	2	R7.12.19
１１月	0	0	－		0	－
１２月	0	30,000	－	なめこ	1	R8.2.20
１月	0	12,555	－	なめこ	1	R8.3.19
２月	0	0	－		0	－
３月	0	486,931	－	こまつな	1	R8.5.21
合計	433,897	2,862,397	659.7		8	

表２　特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

対象品目	対象出荷期間	補給金額　（円）		前年比（%）	Ｒ７年度交付年月日
		Ｒ６年度	Ｒ７年度		
ほうれんそう（東北）	R7年10月1日～12月31日	0	0	－	－
ほうれんそう（東北）	R8年　1月1日～ 3月31日	0	110,945	－	R8.5.21
しゅんぎく　（東北）	R8年　1月1日～ 3月31日	0	0	－	－
しゅんぎく　（関東）	R8年　1月1日～ 3月31日	0	0	－	－
合計		0	110,945	－	

表３　指定野菜価格安定対策事業

業務区分				補給金額　（円）		Ｒ７年度
対象品目	対象出荷期間	対象市場	産地区分	Ｒ６年度	Ｒ７年度	交付年月日
冬春きゅうり	5月～6月	東北	Ⅰ	0	0	－
		東北	Ⅲ	0	0	－
		関東	Ⅰ	0	0	－
春キャベツ	5月～6月	東北	Ⅰ	0	0	－
		関東	Ⅰ	0	0	－
ほうれんそう	4月～6月	東北	Ⅰ	0	0	－
夏秋きゅうり	7月～9月	東北	Ⅰ	0	0	－
		関東	Ⅰ	0	0	－
夏秋キャベツ	7月～10月	東北	Ⅱ	0	0	－
		関東	Ⅱ	0	0	－
夏秋なす	7月～9月	東北	Ⅰ	0	0	－
夏秋なす	10月～11月	東北	Ⅰ	0	0	－
ほうれんそう	7月～9月	東北	Ⅰ	0	0	－
秋冬ねぎ	10月～12月	東北	Ⅰ	0	0	－
秋冬ねぎ	1月～3月	東北	Ⅰ	0	0	－
ほうれんそう	10月～12月	東北	Ⅰ	0	0	－
ほうれんそう	1月～3月	東北	Ⅰ	0	0	－
冬春きゅうり	3月～4月	東北	Ⅰ	0	0	－
事業計		東北		0	0	
		関東		0	0	
		計		0	0	

表４　　参考　年次別補給金推移

年 度	補給金額　（円）		
	一般青果物 価格補償事業	特定野菜等供給産地 育成価格差補給事業	指定野菜価格 安定対策事業
H29 年度	22,770,374	0	－
H30 年度	26,487,677	309,543	－
R 元年度	23,319,898	77,797	2,025,000
Ｒ２年度	20,363,653	78,518	461,000
Ｒ３年度	40,833,665	0	11,734,000
Ｒ４年度	12,843,502	41,532	870,000
Ｒ５年度	9,178,877	2,297	140,000
Ｒ６年度	433,897	0	0
Ｒ７年度	2,862,397	110,945	0